

地域全体で認知症への理解を！ 熊石介護者と共に歩む会 楽しく縁カフェ

3月3日、ふれあい交流センターくまいし館で、地域全体で認知症への理解を深めるとともに介護の悩みなどの意見交換を通じて、認知症の人やその家族を支える憩いの場づくりをしようと、「楽しく縁カフェ」（熊石介護者と共に歩む会主催）が開催され、約40人が参加しました。八雲警察署熊石駐在所松本智志所長によるオレオレ詐欺の手口を紹介した夫婦漫才やカラオケ、盆踊りが行われたあと、お茶やお汁粉が提供され、参加者同士でおしゃべりを楽しみました。参加者は「日頃の介護を忘れ、楽しい時間を過ごせた」などと話していました。



将来の新幹線新八雲駅(仮称)誕生に 思いをはせて！

北海道新幹線開業記念 大鉄道写真展 八雲展

12月20日～3月5日の期間、昨年3月26日に北海道新幹線が開業したことを記念し「大鉄道写真展」が八雲町木彫り熊資料館にて開催されました。作品は、コンテスト形式で北海道の鉄道風景などの写真を作品募集したもので、会場には、選考された90点の作品が並びました。作品は、第一部門「青函」、第二部門「函館から札幌～新幹線札幌延伸を見据えて」、第三部門「北海道～大自然と鉄道」という三部門に分けて展示され、函館など町内外からの来場者が鉄道に思いをはせ写真を楽しみました。



うまくできるかな？ わくわく教室特別企画！

第2回技能フェア ～ものづくり体験～

2月26日、八雲町技能研修センターにて、今年2回目となるわくわく教室特別企画第2回技能フェア「ものづくり体験」が開催され、小学生など20人が、木の箸、タイルを敷き詰めた鍋敷き、ちりとりづくりを体験しました。この教室は、北渡島技能者協会が一昨年から開催しており、若い技術者が減っていく中で、子供たちが体験を通して技術の楽しみを学んでもらい将来の選択肢の一つになってくれればと始めました。子ども達は、職人から、かんなで木を削る作業や、タイル貼りなどの技術を教えてもらいながら普段できない体験を行い、製作を楽しみました。



八雲総合病院医療懇談会 研修医と語る八雲の医療

2月27日、はぴあ八雲にて、今年の3月で八雲総合病院での研修を終了する研修医の布施武彦さん、西田千尋さんがプレゼンターとなり、2年間八雲で学んだことについて講演を行いました。研修医から、地域医療の中核病院で学びたいと八雲総合病院を志望したことや、研修医からみた八雲総合病院の課題などが話されました。コーディネーター役となった三田病院院長は、臨床研修医制度の説明や病院、地域の課題点をどう改善していくのか、これからするべき事は何かなどを語りました。参加者からは「将来、また八雲に戻ってきてほしい」などの意見が出されていました。

